

東京都の23区内で得られたホンダタヌキに関する生息情報

吉野 勲

田園生物研究所 新宿御苑森の会

Notes on informations of the inhabiting Hondo raccoon dog in the twenty-three wards of Tokyo Yoshino, Isao

ホンダタヌキ *Nyctereutes procyonoides viverrinus* (以下タヌキ) は人里に普通に見られる人になじみの深い動物で、都市化の進んだ東京でも明治から大正にかけて広く分布していたが、23区内では大正から昭和20年代にかけて消滅したとされている。(小原秀雄、1982) この原因としては戦時中の乱獲や戦後の住宅開発が影響を与えていると思われる。(千羽、金井、1974) このためタヌキは23区内や都市周辺部から徐々に分布が山間部へ退行していったのではないかと一般的には考えられていた。ところが、八王子市や町田市の都市周辺部では1980年代からタヌキの目撃情報や道路で交通事故死したタヌキの報告が増加している、このことはタヌキの都市周辺部への分布の拡大が示唆されている。(金井郁夫、1991) (岡崎弘幸、1993) (桑原紀子、1995) 東京都の隣県、神奈川県においても1980年代からタヌキの生息分布域は横浜市及び川崎市の市街地に拡大しており、生息密度も高くなっていると報告されている。(古内ら 1988) (有馬ら、1993) また、環境省が実施した「第6回自然環境保全基礎調査」(2004)によると、生息区画率が関東でもっとも増加しており、埼玉県、神奈川県、東京都、千葉県などの平野部で分布が拡大されているのが確認された。一方、東京23区内でも、1990年代後半から皇居にタヌキが定住している可能性が報告されている。(遠藤ら、2000)

このようなことから、都市周辺部からタヌキが再び東京の都市部へ進出し、23区内へ分布域を拡大しているのか、もし分布を拡大しているとしたらどのような状況なのかの調査を行い、23区内のタヌキの分布状況について報告を行う。

1. 調査地

調査地は神奈川県、埼玉県、千葉県に接した東京都の東側に位置する23区内を対象として行った。(図1) 神奈川県との境には多摩川、埼玉県との境には荒川、千葉県との境には江戸川が流れている。東京都の中心的地域であり、人口密度の高い地域である。



図1 調査地(東京23区)

2. 調査方法

(1) タヌキの生息情報の収集

インターネット(新聞等)利用によりタヌキの生息情報の収集を行う。今回の調査では次の基準を設けて情報の検索を行った。情報を検索するための基準として、タヌキの確認時期、場所、確認者などが特定できる情報とした。また、確認日時や確認者が特定できない場合でも、現地でタヌキの情報(生活痕やヒヤリング)でタヌキの生息が確認された場合は情報源とした。

(2) 現地調査

現地踏査はインターネットで収集した情報などを元に生息可能の高い地域を選定し現地を踏査し生

活痕（フィールドサイン）などの情報収集を行った。確認した痕跡については、その種類、確認場所、植生環境、足跡の場合は地面に残った寸法などを適時記録した。また、タヌキの「溜糞場」の場合は糞の広がり状況、新旧の状況を記録し、著しく古いもの以外は採集した。

(3) 調査地の選定方法

調査地の選定についてはタヌキが水辺を採食地として重視し、移行帯のある水辺を選択的に歩いていると考えられるという報告（千々岩ら、2004）や河川敷を回廊として利用しているという指摘から（千々岩ら、2004）、多摩川流域、荒川流域、江戸川流域などの河川沿いを調査地として選定した。また、川崎市の住宅地での生息状況の報告から（山本祐治、1993）大きな樹林のある公園や周辺部がタヌキの生息可能の高い地域と考え、調査地として選定した。以上のことから河川沿いと樹林地のある都市公園や周辺部を調査対象として現地踏査した。

3. 調査結果

今回の調査では、2002年から2005年の間にタヌキの生息情報が40地点で得られた。

インターネット利用による生息情報の収集において、ブログや掲示板などの情報は匿名性や確認時期、場所が特定できなかつたためにほとんどが調査の対象外となった。しかし、場所や日時は不明であるがブログや掲示板に掲載されているタヌキの生息情報が案外多いということがわかった。タヌキに関心がある人々が多いようである。

インターネット利用による生息情報の結果は図2、表1に示す。合計13区から30報の生息情報が得られた。そのうち新宿区から6報、杉並区から5報、世田谷区4報、練馬区4報で、新宿区からの情報が多かった。

インターネットで収集した情報などを参考して、荒川沿い、野川沿い、多摩川沿い、新宿区（新宿御苑周辺、下落合、高田馬場、西早稲田、信濃町、若葉、南元町）、渋谷区（千駄ヶ谷、霞ヶ丘、代々木公園）、杉並区（浜田山駅周辺、大塚山公園、神田川沿い、阿佐ヶ谷）、板橋区（赤塚公園周辺、城北中央公園周辺）、北区（赤羽周辺）、世田谷区（成城学園周辺、岡本）、墨田区（向島、隅田公園）、

台東区（上野公園周辺）において現地踏査を行った。生活痕（フィールドサイン）などの情報収集を行ったところ、荒川沿いで3カ所、多摩川沿いで4カ所、板橋区（安養院）、新宿区（新宿御苑、みなみもと町公園）においてタヌキの足跡が確認できた。なお、新宿御苑においては溜糞場も確認できた。確認できたタヌキの生活痕確認地点は図2、表1に示す。

今回の調査から、板橋区、北区、杉並区、新宿区では親子ずれのタヌキが目撃されていることが分かった。

また、現地踏査の時、地元の方から赤坂御用地からみなみもと町公園を通り JR 沿いに新宿御苑方向に移動するタヌキをよく見るなどの確認情報も得られた。

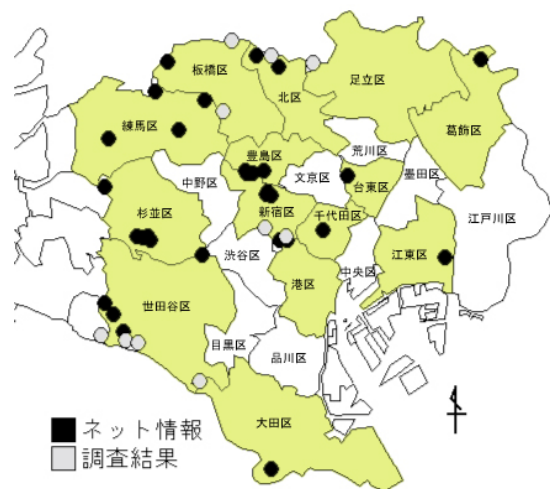


図2 23区内のホンダタヌキの分布図

4. 考察

タヌキの確認状況は北区、練馬区、港区、新宿区、豊島区、葛飾区、江東区、板橋区、杉並区、世田谷区、台東区、千代田区、大田区の13区にわたり広く分布しており、このことからおおざっぱに言えば23区内の6割の地域に分布している可能性があると言える。板橋区、杉並区、北区、新宿区では繁殖が確認されたので、これらの区ではタヌキが大きな公園や住宅地に定着していると考えられ、さらに調査を行えば今回確認された場所以外にも生息している可能性があると考えられる。しかし、板橋区、杉並区、北区、新宿区以外では繁殖が確認されてい

ないので、これらの4区以外の区では移動個体が確認されたか、現地踏査中に良好な生息環境が見あたらないので一時的な生息かとも思われる。

また、荒川沿いや多摩川沿い、野川沿いでは飛び石状にタヌキの確認地点が分布していた。タヌキの確認地点では小規模な樹林地やヨシ原などが見られ、ヨシ原などは人が踏み込めないような環境となっていた。

河川沿いに連続したタヌキの確認地点がないのは、河川沿いに連続した樹林地が無いこと、場所によっては河川敷に住人がおり、これらの住んでいる人の影響などが考えられる。特に注目する点は河川敷で生活している住人がペットとしてイヌを飼っていることがあり、場所によっては放し飼いの状態であった。このように、タヌキにとってイヌなどの天敵となる動物がいるような河川敷は連続した生息地とはならないと考えられる。このため河川沿いはタヌキにとっては安全な生息地というよりは、多くの場所では移動経路あるいは採食地として利用しているのではないかと推測され、飛び石状にタヌキの確認地点が分布していることから考えて、河川沿にタヌキは移動しているのではないかと推測される。このため河川沿いは都市の中では重要な移動経路とも言えるのではないだろうか。

なお、河川が無い23区内中心部のタヌキはどのような場所を移動しているのかは不明な点が多いが、一つの移動経路としては、赤坂御用地周辺での聞き込みの例から JR などの線路沿いや人通り少ない道路などを移動経路として使用されているのではないかと考えられる。

ところで、現地調査から世田谷区の野川沿い、新宿区の下落合、杉並区の浜田山では住宅地の中に緑地が連続して残り、世田谷区や新宿区では崖下に湧水が見られるような場所もあり、中型の哺乳動物にとって良好な自然がまだ残されていることがわかった。都市部のタヌキは巣穴やねぐらが確保できるような樹林地やササ草地などの環境があれば雑食性のタヌキは自然に手に入れられる食料以外にも、生ゴミや餌づけなどにより生息していけるのではないかと考えら

れる。上記の住宅地ではこれらの環境が存在し採食地となるような環境もあり、一部でネコなどに給餌している人が観察されているので、タヌキへの給餌も可能性があると思われる。このような場所にいつ頃からタヌキが生息していたかの情報は得られていないが、新宿区や世田谷区の状況から考えてずいぶん前からタヌキが生息していたのではないかと推測される。最近になってタヌキの報告が多くなったのは、住人が今まで気がつかなかったタヌキに気づき、タヌキの生息が報告されるようになった可能性もある。

参考文献

- 沼田真、小原秀雄、1982.東京の哺乳類「東京の生物史」：65-72、紀伊國屋書店
- 千羽晋示、金井郁夫、1974「自然環境保全に関する基礎調査報告書」：23-61、東京都
- 金井郁夫、1991「東京の自然」：1-17、東京都
- 岡崎弘幸、1993「東京の自然」：1-15、東京都
- 桑原紀子、1995「いまだきの町だぬき」：1-15 たぬき実行委員会
- 古内昭五郎、野口光昭、沼田美幸、1988「神奈川県立自然保護センター報告第5号」：37-48 神奈川県立自然保護センター
- 有馬征二、野口光昭、鈴木一子、1993「神奈川県立自然保護センター報告第10号」：101-114 神奈川県立自然保護センター
- 2004「第6回自然環境保全基礎調査哺乳類分布調査報告書」：72-77 環境省自然環境局生物多様性センター
- 遠藤秀紀、倉持利明、川島舟、吉行瑞子 2000「国立科学博物館専報 第35号」：29-33 国立科学博物館
- 千々岩哲、下里真士、鶴岡宗尚、深尾明宏、四俣正俊、2004 矢作川中流域河川敷におけるホンダタヌキの土地利用と河川敷の回廊機能評価 矢作川研究 NO8：47-59
- 山本祐治、1993「川崎青少年科学館紀要(4)」：7-12 川崎青少年科学館

表1 タヌキ確認場所

番号	確認場所	確認区	確認方法	確認種別	情報源
1	土井燃料店	板橋区	目撃	新聞	毎日新聞 無記名 2003年6月16日
2	六郷の干潟	大田区	目撃	新聞	読売新聞 無記名 2005年10月1日
3	水元公園	葛飾区	目撃	ネット情報	たぬき通信 無記名 2003年1月
4	赤羽自然観察公園	北区	目撃	新聞	朝日新聞 無記名 2003年8月30日
5	北赤羽駅前	北区	目撃	ネット情報	浮間わいわいねっと 無記名 2005年9月2日
6	東砂8丁目公園	江東区	目撃	新聞	読売新聞 無記名 2004年2月15日
7	おとめ山公園	新宿区	目撃	ネット情報	下落みどり基金 2005年
8	野鳥の森公園	新宿区	目撃	ネット情報	下落みどり基金 2005年4月
9	葉王院	新宿区	目撃	ネット情報	下落みどり基金 2005年2月27日
10	戸山公園2丁目	新宿区	目撃	ネット情報	下落みどり基金 2005年
11	戸山公園3丁目	新宿区	目撃	ネット情報	下落みどり基金 2005年
12	学習院女子大	新宿区	目撃	新聞	毎日新聞 無記名 2004年12月4日
13	東京女子大学	杉並区	目撃	ネット情報	東京女子大 2005年9月22日
14	三井上高井戸運動場	杉並区	目撃	ネット情報	三井グラウンドと森を守る会 2004年
15	日本郵政公社中央レクリエーションセンター	杉並区	目撃	ネット情報	三井グラウンドと森を守る会 2004年
16	柏の宮公園	杉並区	目撃	ネット情報	三井グラウンドと森を守る会 2004年
17	三泉淵緑地	杉並区	目撃	ネット情報	三井グラウンドと森を守る会 2004年
18	和田堀給水所	世田谷区	目撃	ネット情報	東京不自然図鑑 2003年6月
19	成城三丁目緑地	世田谷区	目撃	ネット情報	国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所 2004年
20	成城みつ池緑地	世田谷区	目撃	ネット情報	国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所 2004年
21	野川町田橋	世田谷区	目撃	ネット情報	野川散策絵巻に誘われて 2003年3月23日
22	上野動物園	台東区	目撃	ネット情報	東京都公園協会 2002年9月
23	皇居	千代田区	目撃	新聞	朝日新聞 無記名 2002年3月21日
24	学習院大学	豊島区	目撃	ネット情報	下落みどり基金 2005年7月21日
25	豊島園	練馬区	目撃	ネット情報	S-yama's Suite weblog19 2005年6月6日
26	金乗院	練馬区	目撃	新聞	朝日新聞 無記名 2002年8月25日
27	光が丘公園	練馬区	目撃	ネット情報	生態工房 2003年3月16日
28	石神井公園	練馬区	目撃	ネット情報	国土交通省関東地方整備局東京外かく環状道路調査事務所 2004年
29	明治記念館	港区	目撃	ネット情報	現実逃避のピアテラス 無記名 2005年7月15日
30	赤坂御用地	港区	目撃	ネット情報	国立科学博物館専報 vol. 39 2005年3月
31	鹿浜橋緑地	足立区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年9月26日
32	安養院	板橋区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年9月20日
33	戸田橋ゴルフ練習場	板橋区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年9月27日
34	新荒川大橋野球場	北区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年9月27日
35	みなみもと町公園	新宿区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年8月26日
36	新宿御苑	新宿区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年8月21日
37	宇奈根	世田谷区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年10月3日
38	二子橋公園	世田谷区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年10月3日
39	白バイ訓練所前	世田谷区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年10月3日
40	多摩川緑地広場前	大田区	足跡	現地調査	新宿御苑森の会 2005年10月6日